

罪をきよめる泉

ゼカリヤ書13章

その日には、罪と汚れとを清める一つの泉が、ダビデの家とエルサレムの住民とのために開かれる。(1)

前の章で神はエルサレムを周辺諸国の攻撃から守つてくださると約束されました。外敵の脅威が取り除かれた後、いよいよ神の民自身の根本的な問題に焦点が当てられます。イスラエルが滅ぼされたのは、真の神を捨てて偶像の神々を礼拝したためでした。この罪の源泉を断つことなしに、彼らの祝福はありません。そこで主は、「わたしは地から偶像の名を取り除き」(2)と述べて、彼らを罪の道へと誘う偶像を断ち滅ぼす決意を示されるとともに、彼らを罪と汚れから清めるとの約束を語られました。「その日には、罪と汚れとを清める一つの泉が、ダビデの家とエルサレムの住民とのために開かれる」。古くから水は人間の罪と汚れを清めるものとして使われてきました。そして今、神の民の罪と汚れを清めるための泉を与えてくださるというのです。それは神から与えられる泉、永遠に枯れることのない泉です。この約束は主イエスの来臨によつて成就しました。主イエスは十字架において人間の全ての罪と汚れを引き受けてくださり、主を信じる者たちをきよめてくださるのです。「御子イエスの血が、すべての罪からわたしたちをきよめるのである」(第一ヨハネ17)。

この泉は今、すべての人に対して開かれています。「わたしのもとに来なさい」と招いてくださる主イエスを「わたしの救い主」と仰ぎ、命の水を飲むではありませんか。